2011 年度

# 学習院大学東洋文化研究所「東アジア学」共創研究プロジェクト
# 研究課題募集要項

学習院大学東洋文化研究所は朝鮮・中国を中心としたアジア地域の研究をおこなうため、1952 年に創設された大学附置研究所です。「東アジア学共創研究プロジェクト」は東アジアに関する様々な問題に対して既存の学問分野を越えて学際的・国際的な研究をすすめ、新たな「東アジア学」を学外の若手研究者とともに共同で創り出すことを目的として 2006 年度より開始した研究プロジェクトです。研究課題は、学外の若手研究者からの公募によって決定されます。本年度募集要項は下記のとおりです。

記

１、研究プロジェクトの主たる考察対象地域
中国・朝鮮・日本を中心とした東アジア地域、またはこれらの地域と深くかかわる各地域。

２、応募資格
博士の学位を有する者もしくは大学・研究機関の研究者（常勤・非常勤を問わない）またはこれに相当する者。なお、採用の際には、学習院大学客員研究員となっていただきます（任期１年間)。

３、研究期間
2011 年度の１年間

４、研究成果の公表
研究成果の公表としては以下の３点を義務とします。
（１）『学習院大学東洋文化研究所報』（2012 年 5 月発行）に研究成果の概略を掲載。
（２）2012 年 5 月下旬の東洋文化研究所研究成果報告会における口頭発表
［使用言語：日本語のみ。会場までの交通費は原則自己負担］
（３）『東洋文化研究』15 号への論文・研究ノートの投稿
［2012 年 9 月末締切。日本語論文］
（なお、雑誌への掲載の可否については『東洋文化研究』編集委員会にて別に審査されます。）

５、研究費
［最大］年額 30 万円
上記金額を上限とし、所定の応募用紙に研究計画と研究に必要な経費をできるだけ具体的に記入し、提出してください。この応募書類に基づき、選考委員会、運営委員会での審議を経て、最終的な研究費金額が決定されます（必ずしも申請金額のとおり決定されるとは限りません)。最終的な採用件数は当該年度の研究費総額により変動しますが、２件程度を予定しています。なお、支出に際しては受け入れ研究者との相談の上、使用することとなります。(予算計画書において、旅費は研究費全体の 70%以内として下さい。)

６、応募方法
以下の３点を期日までに提出してください。
①履歴書（用紙は市販のものに準拠し、写真を貼付すること）
②業績表（最近５年間の業績について著書・論説・その他等に分けて記してください）
③研究計画書（本文書の「受け入れ研究者」欄には下記の【受け入れ研究者リスト】から一名を選択してご記入ください。受け入れ研究者への事前のご連絡は必要ありません。

(研究計画書のフォームはホームページ URL： http://www.gakushuin.ac.jp/univ/rioc/ からダウンロードできます。)
以上３点を記入の上、提出してください。なお、採択された場合、研究計画が『学習院大学東洋文化研究所報』および東洋文化研究所の Web ページに掲載され、公開されます。

７、提出先
〒171-8588　東京都豊島区目白 1-5-1 学習院大学東洋文化研究所事務室（北１号館４階）

８、提出期間
2010 年 12 月 13 日（月）～2011 年 1 月 29 日（土）必着＜**郵送でのみ**受付をします＞
（封筒表面に「共創研究プロジェクト研究課題応募書類」と朱書し、書留とすること。
なお、応募書類は返却しない）

９、採否
選考委員会での厳正なる審査の後、2011 年 3 月中旬までに採否の結果を通知します。

10、お問い合わせ：学習院大学東洋文化研究所事務室　Tel:03-3986-0221（内線 6360）
E-mail: ori-off@gakushuin.ac.jp

【受け入れ研究者リスト】

| 氏　名 | 学内所属 | 専門分野 |
|---|---|---|
| 磯﨑　典世 | 法学部政治学科教授 | 韓国政治／比較政治／国際政治 |
| 大澤　顕浩 | 外国語教育研究センター教授 | 東洋史／出版文化史／中国地理学史 |
| 岡　　孝 | 法学部法学科教授 | 民法／比較民法 |
| 鐘江　宏之 | 文学部史学科教授 | 日本史／日本古代史 |
| 草野　芳郎 | 法学部法学科教授 | 民事訴訟法 |
| 斉藤　利彦 | 文学部教職課程教授 | 教育史／学校制度 |
| 高柳　信夫 | 外国語教育研究センター教授 | 中国哲学／中国近現代思想 |
| 武内　房司 | 文学部史学科教授 | 東洋史／中国近代史 |
| 鶴間　和幸 | 文学部史学科教授 | 東洋史／東アジア古代史 |
| 中居　良文 | 法学部政治学科教授 | 中国政治／国際政治 |
| 中田　喜万 | 法学部政治学科教授 | 日本政治思想史／近世日本思想 |
| 前田　直子 | 日本語日本文学科教授 | 日本語学／現代日本語文法 |
| 馬淵　昌也 | 外国語教育研究センター教授 | 中国哲学／中国中近世知識人思想史 |
| 村主　道美 | 法学部政治学科教授 | 国際政治／東アジア |

［参考　採択状況］
2006 年度　応募　６件のうち採択２件
2007 年度　応募１１件のうち採択２件
2008 年度　応募　３件のうち採択２件
2009 年度　応募１５件のうち採択２件
2010 年度　応募　５件のうち採択２件

【2010 年度に採択された研究課題一覧】

| | |
|---|---|
| 日本の旧植民地における歴史・考古学系博物館の持つ政治性に関する比較研究－「満洲国」国立（中央）博物館および朝鮮総督府博物館を事例として－ | 応募者：大出　尚子（所属：日本学術振興会特別研究員）<br>受け入れ研究者：中居　良文<br>（学習院大学法学部政治学科教授） |
| 日本古代の鉱山および官営工房の運営とその源流～日韓の木簡の比較検討を通じて～ | 応募者：畑中　彩子（所属：元学習院大学文学部史学科助教）<br>受け入れ研究者：鐘江　宏之<br>（学習院大学文学部史学科教授） |